四季の営農
ワンポイント
アドバイス
【園芸指導】

初期除草剤のご紹介

【指導員】　園芸課　菅原　大

雪解けも進みいよいよ畑作業も本格化してくる頃と思います。今回は家庭菜園でよく作られている作物向けの初期除草剤をご紹介します。雑草はせっかく植えた作物の生長を阻害するだけでなく、病害虫の被害にも遭いやすくなりますので、早めの除草を心がけましょう。

（表の使用量や水量は10aあたり）

作物名	農薬名	使用量 または薬量 ［希釈水量］	使用時期	使用方法	使用上の注意
きゅうり	トレファノサイド乳剤 ［露地栽培 （移植栽培）］	200～250ml ［100L］	定植前 （植穴堀前） 定植直後	・定植前 全面土壌散布 ・定植直後 畦間土壌散布 １回	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。定植直後、畦間に使用する作物にかからないように散布する。
なす	トレファノサイド乳剤 ［露地栽培］	200～300ml ［100L］	定植前 （植穴堀前）	全面土壌散布 １回	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。薬害のおそれがあるので、定植３日前までに使用する。粒剤を定植直後、畦間に使用する場合は作物にかからないように散布する。
	トレファノサイド粒剤2.5 ［露地栽培］	４～５kg	定植前 （植穴堀前） 定植直後	・定植前 全面土壌散布 ・定植直後 畦間土壌散布 １回	
さやいんげん	トレファノサイド乳剤 ［露地栽培］ ［露地･マルチ栽培］	200～300ml ［100L］	［露地栽培］ 播種直後 ［露地･マルチ栽培］ 播種前 （マルチ前）	全面土壌散布 １回	ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科雑草を除く。砂土は丁寧に行い、覆土は２～３㎝とする。播種前（マルチ前）に使用する場合は露地マルチ栽培で使用する。播種部分のマルチ開孔後２～３日してから播種し、無処理の土で覆土する。
さといも	ゴーゴーサン乳剤	200～400ml ［70～100L］	植付後萌芽前 （雑草発生前）	全面土壌散布 １回	キク科雑草及びツユクサには効果が劣る。

使用する際は、ラベルに記載している使用上の注意点等をしっかり確認し、使用方法を守りましょう。土壌の適度な水分、土質、整地、使用時期、散布のタイミングで効果に差が出る場合があります。